おうしゅう 福祉だより

2024.8 Vol.106

OSHU FUKUSHI DAYORI

発行：奥州市社会福祉協議会

江刺ひがし小学校の親子レク

じゃんけん列車と
ボッチャでふれあう

P2～3　令和5年度事業報告・決算報告
P4～5　インフォメーション
　　義援金協力のお礼
P6　社協のおしごと

この広報誌は市民の皆さまから寄せられた赤い羽根共同募金の配分金により発行しています

令和5年度 奥州市社会福祉

実施事業のご報告

令和5年度は、コロナの影響で停滞していた自治会活動等が徐々に回復に向かい、地域交流やサロン活動など、地域福祉活動が活気づきました。奥州市社会福祉協議会が推進する「ふれあいいきいきサロン」には約3万人が参加し、実施回数は前年度比 1.25 倍、地域での除雪・ゴミ出し等の生活支援は前年度比 1.24 倍の実施回数の伸びが見られました。

誰もが安全・安心に暮らせる地域づくり

地域セーフティネット会議に当会の福祉活動専門員（CSW）が出席し、除雪やゴミ出し・買物支援など、地域ニーズに合わせた生活支援の取り組みにむけた運営支援や体制を構築しました。

BCP（事業継続計画）の策定

自然災害や感染症などの緊急事態において事業継続・早期復旧を図るため、本会の全施設・組織を対象に策定しました。

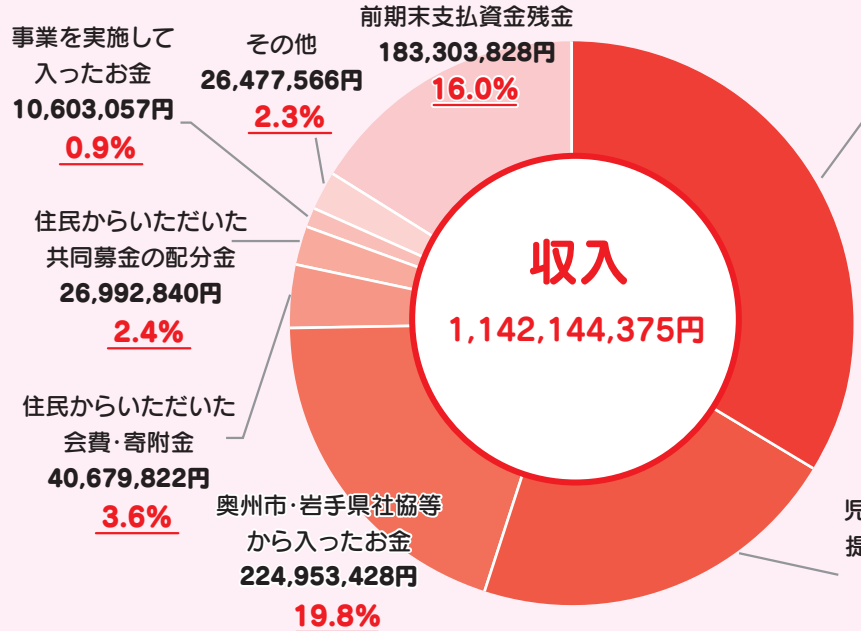
信頼ある組織・機構づくりと事業推進体制の見直し

支所業務の本所集約・スリム化により、住民との協働を集中的に行える環境を整備しました。

法人運営と職員管理・育成の強化

働きやすい環境づくりの一環としてハラスメント防止に向けた啓発活動を実施しました。

決算のご報告



協議会 事業報告・決算報告

生活課題を抱えた世帯と地域福祉活動をつなぐ事業

生活課題を抱えたゴミ屋敷等の当事者世帯に対する支援を行う住民自治組織に対し、助成金を交付し、孤立を防ぐ関係づくりを支援しました。

市民の暮らしや活動を支える体制づくり

社会福祉協議会へ期待すること、地域福祉活動に対する考え方を把握するため、インターネット等を活用したアンケート調査を実施。活動を支える体制づくりの参考としました。

効果的な事業運営と財政基盤の確立

財政検討委員会の答申を受け、ささえあい協賛金と会費の一元化、地区への助成金のあり方を検討しました。

新たな生活支援体制の構築

市民後見人養成講座を修了し、後見活動が可能な修了者を候補者名簿に登録。職員に対し、死後事務委託契約や任意後見契約について研修を実施。若年ひきこもり世帯の支援体制構築に向けて市内高等学校を訪問し、状況を把握しました。

サードプレイス事業

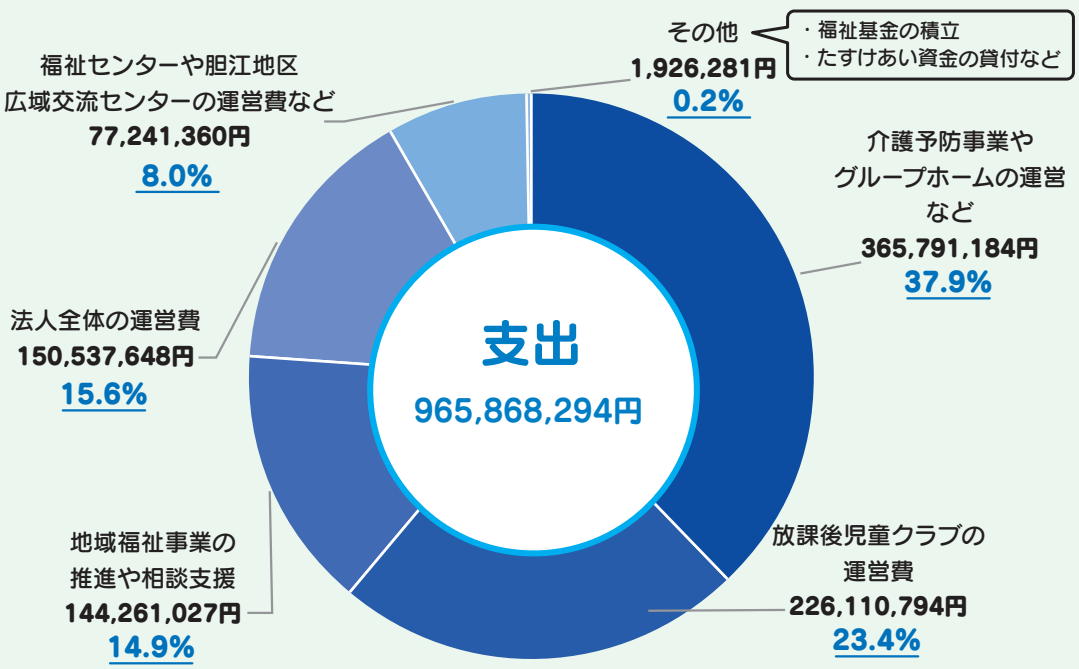
市内の子どもの第3の居場所として、みなみ放課後児童クラブ、ときわ放課後児童クラブ、奥州市総合福祉センターを開放しました。

ニーズに基づいた事業展開と評価及び支援体制の確立

地域福祉事業と連携した介護サービスの提供に向けた検討を開始しました。

地域の福祉を支える仕組みづくり

地域共生社会の実現に向け、社会福祉法人の地域貢献や連携を図るため、市内18法人による「奥州市社会福祉法人連絡会」を設立しました。



次年度繰越額
176,276,081円
（収入－支出）

※令和5年度事業報告・決算報告は、奥州市社会福祉協議会ホームページからもご覧いただけます。

おしらせ

第19回奥州市社会福祉大会

だれもが心の豊かさと幸せを実感できる「福祉のまち奥州市」をめざして。多年にわたり福祉活動にご尽力いただいた方々等の表彰を行います。

▼日　　時　令和6年10月23日(水)
午後1時～午後4時（開場　午後0時30分）
▼会　　場　奥州市文化会館大ホール
▼日　　程　午後1時00分　オープニングアトラクション
午後1時30分　式典
＊挨拶　＊表彰　＊祝辞
午後2時20分　記念講演
＊テーマ「岩手にええトコあると思います!
～移住して知った沢山の宝物～」
＊講　師　いわて応援芸人　天津 木村 氏

ー講師プロフィールー
1976年、兵庫県生まれ。吉本総合芸能学院（NSC）大阪校21期生、1999年2月にコンビ「天津」を結成。2008年、詩吟とお笑いを融合させた芸風で人気を博す。決め台詞の「あると思います」は2009年の「新語・流行語大賞」にノミネートされた。2021年4月番組MC就任を機に岩手移住。岩手朝日テレビ「Go!Go!いわて」に出演している。

▼問 合 せ　市社協総務財政課　☎25-6158

パソコン点訳初級講習会

視覚障がい者が情報を得る手段の一つである「点字」を通して、障がい者への理解と知識を深め、点字による情報支援の充実化を図ることを目的として開催します。

▼日　時　令和6年10月5日、12日、19日、26日　毎週土曜日（全4回）
午後1時～午後4時（最終日は15分程度の閉講式を行います）

▼会　場　奥州市総合福祉センター小会議室
▼対象者　奥州市内に在住・在勤で、視覚障がい者の情報支援や点訳に興味のある方
▼定　員　10人
▼参加費　770円（テキスト代）
▼持ち物　筆記用具
▼申込み・問合せ先　市社協地域福祉課（ボランティア活動振興室）　☎25-6188

福祉なんでも相談所

「福祉なんでも相談所」は市民が無料で相談できる相談所です。社会福祉士等の資格をもつ、福祉活動専門員（CSW＝コミュニティソーシャルワーカー）が、どのようなことにお困りか事情を伺い、助言又は問題解決のできる相談機関等を紹介します。相談料は無料です。まずはお気軽にご相談ください。

▼開 設 日
8月27日(火) 南股地区センター　9月 6日(金) 水沢地区センター
9月17日(火) 米里地区センター　9月27日(金) 白山地区センター
10月 7日(月) 姉体地区センター　10月17日(木) 伊手地区センター
10月25日(金) 若柳地区センター　11月 7日(木) 前沢地区センター
11月15日(金) 藤里地区センター　11月27日(水) 衣川地区センター
※12月以降の開設日は、お問い合わせください。

▼開設時間　午前10時～午前11時30分
▼利用方法　電話予約または、会場へ直接お越しください（予約者が優先となります）。
▼問 合 せ　市社協地域福祉課（福祉のまちづくり支援室）　☎25-6188

奥州金ケ崎地域市民後見人養成講座

認知症や知的・精神障がい等で判断能力が十分でない方の権利や財産を守るために支援する「市民後見人」の養成講座を開催します。　※市民後見人とは…親族以外の市民による後見人

▼日　　時　　令和6年9月12日、19日、26日、10月3日、10日　毎週木曜日（全5回）
▼会　　場　　奥州市総合福祉センター
▼対 象 者　　奥州金ケ崎地域にお住まいの方
　　全5回すべての科目を受講できる見込みのある方　※詳細についてはお問合せください。
▼定　　員　　30名（定員を超えた場合は抽選）
▼受 講 料　　5,000円
▼申込締切　　令和6年8月30日(金)
▼申込み・問合せ先　市社協生活応援課　☎25-7171

地域で暮らし続けるための「おかげさま」を学ぶ講座

市民の皆さんが通年で地域福祉について学ぶ場を設け、身近な実践事例に触れながら、皆が暮らしやすい地域づくりを考える機会として実施します。※第１回講座は終了いたしました。

▼内　　容　　≪第2回講座≫
　　令和6年9月13日(金)　午後１時30分～午後3時30分
　　テーマ：若者が参加したい魅力的な地域活動を考えよう!
　　講　師：いわて連携復興センター 地域コーディネーター 川原 直也　氏
　　≪第3回講座≫
　　令和6年11月22日(金)　午後１時30分～午後3時30分
　　テーマ：市内で取り組まれている事例から学ぼう!（事例紹介）
　　講　師：奥州市社会福祉協議会地域福祉課長　高橋研
　　　　市内活動団体等（調整中）
▼会　　場　　奥州市総合福祉センター
▼参 加 費　　無料
▼定　　員　　会場参加：100名　　Web参加：100名（先着順）
▼申込方法　　開催日の10日前を目安に、下記までお申し込みください。
　　Webで参加の方は、申込みをいただいた後、追ってZOOMミーティング ID とパスワード等をメールにてお送りします。
▼問 合 せ　　市社協地域福祉課（福祉のまちづくり支援室）
　　☎25-6188　✉chiiki@oshu-shakyo.jp

災害義援金募集へのご協力ありがとうございました

令和6年元旦に発生した能登半島地震災害に対し、市民の皆さまからの義援金を受け付け、岩手県共同募金会を通じて、各県共同募金会へ送金しました。
令和6年1月5日～令和6年3月31日分まで

合計　64件　1,487,971円

引き続き義援金を受け付けています。ご支援よろしくお願いいたします。

社協のおしごと

奥州市社会福祉協議会では、5課28事業所の約280人の職員が働いています。このコーナーでは、市民の皆さんに社協職員の仕事の内容を知っていただけるよう事業所を紹介していきます。

職場 介護事業課
⑰ いさわ高齢者複合施設じゅあんの園

Q いさわ高齢者複合施設じゅあんの園の職員は何名ですか？

施設長：但木寿也

施設長、介護支援専門員、生活相談員、介護職員、福祉推進員、あわせて22名です。

Q じゅあんの園はどのような施設ですか？

認知症高齢者グループホームと認知症対応型デイサービスの複合施設として、平成24年5月から運営しています。

グループホームは、あじさい棟とゆきつばき棟の異なる空間をもつ2つで構成しており、和やかで楽しい共同生活をしています。

デイサービスでは、小規模の12名定員で毎日開設しています。

Q どんな仕事をしていますか？

デイサービスでは送迎や食事・入浴・排泄介助、レクリエーション、機能訓練などの介護サービスを提供しています。

グループホームは身体介助、健康管理、服薬管理、調理、レクリエーションなど認知症の利用者さんが、可能な限り自立した生活を送り続けられるようにサポートしています。

Q じゅあんの園での利用者の様子を教えてください。

デイサービスでは季節行事や創作活動に取り組み、にぎやかに過ごしています。

グループホームではドライブや工場見学、天気がいいときは散歩などに出かけ、施設にいるときはパズルや点つなぎ、ジェンガやトランプなどで楽しまれています。

草取りや洋服をたたんだり、お茶碗を洗ったりして皆で協力して生活しています。

奥州市社会福祉協議会　連絡先				
総務財政課 25-6158	地域福祉課 25-6188	水沢支所 25-6025	江刺支所 35-8081	前沢支所 56-2148
胆沢支所 46-3111	衣川支所 52-3144	生活応援課 25-7171	こども福祉課 25-6158	介護事業課 51-1181

発行・編集：奥州市社会福祉協議会　E-mail：info@oshu-shakyo.jp
岩手県奥州市水沢南町5番12号　奥州市総合福祉センター　ホームページ：http://www.oshu-shakyo.jp/
電話0197-25-6158　FAX0197-25-6690
印刷：㈱正和印刷